

高槻散策
マップ



津之江 三島江

tsunoe
mishimae
area

大阪ミュージアム登録物

淀川・芥川の河港を訪ね歩く

🛍️ ショッピング・グルメ

- アクトアモーレ ●高槻阪急
📍 芥川町1-2 📍 白梅町4-1
- 芥川商店街 芥川の街で楽しくお買い物。
📍 芥川町1

🏠 銘菓

「高槻城」
…三層の高槻城を模したあとと右近の七星紋をかたどる

- 井づつ 📍 紺屋町8-2 ☎ 072-685-0735

「高槻太鼓」
…玉子たっぷりカステラ饅頭

- 菓匠花菓蔵
📍 芥川町1-2 B-102 ☎ 072-681-2282

「どら焼」
…ふんわりとした生地とつぶあんが調和

- 長岡京
📍 郡家本町42 ☎ 072-682-0808

「西国路」
…村雨生地で小豆の風味がいっぱい

- 薩喜庵
📍 西真上1-34-27 ☎ 072-684-3131

🏨 泊まる

- 亀屋旅館
📍 芥川町2-11-3 ☎ 072-685-0122
- 高槻サンホテル
📍 城北町2-12-6 ☎ 072-676-8787
- ワークホテル高槻
📍 紺屋町8-7 ☎ 072-686-3288
- ワークホテルアネックスー天神の湯ー
📍 高槻町16-5 ☎ 072-681-1388
- W&Mホテル
📍 城北町2-3-15 ☎ 072-662-3310
- 山水館
📍 原3-2-2 ☎ 072-687-4567
- ホテルアベストグランデ高槻
📍 芥川町1-14-1 ☎ 072-686-0001

高槻観光ボランティアガイドのご利用は、
公益社団法人高槻市観光協会にお尋ね下さい。
☎ 072-675-0081
<https://www.takatsuki-kankou.org>

三島江 淀川の豊かな流れ



淀川の水運により、奈良や京の都に大陸文化が伝えられた

淀川は、古くから歴史の道として大陸文化をもたらし、三島江にも河港が設けられた。また一方で豊かな風情を湛え、「歌枕の里」として多くの和歌にも登場している。近世には対岸の京街道や河内とを結び、浜には肥料、塩、木材などが荷揚げされ、高槻からは米や酒、寒天などの特産品が積み出され、多くの船舶で賑わったと伝えられる。

高槻市名誉市民、高碓達之助の生誕地

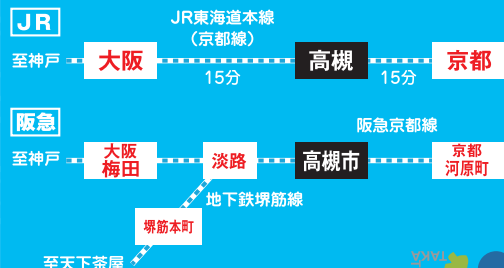
戦後の復興や日中友好関係などに功績のあった高碓氏は、柱本に生まれ日本の近現代史に名前を残した。また、飛騨高山の荘川桜の移植は記憶に新しい。

玉川の里は、古くから和歌に詠まれた「歌枕の里」として知られています。月見の名所としても知られ、平安貴族たちは舟を浮かべ、卯の花の香る初夏の風景に想いを寄せながら優れた作品を残しました。俳人松尾芭蕉もここに立ち寄り句を詠んでいます。



ACCESS

JR東海道本線「高槻」駅、阪急京都線「高槻市」駅をご利用ください。



公益社団法人 高槻市観光協会

〒569-0071 高槻市城北町2-1-18 エミル高槻内2F ☎ 072-675-0081
<https://www.takatsuki-kankou.org>

高槻市 街にぎわい部 観光シティセールス課

〒569-0067 高槻市桃園町2-1 ☎ 072-674-7830
http://www.city.takatsuki.osaka.jp/rekishi_kanko/kanko/index.html

①あじやりの社

日本書紀に安閑（あんかん）天皇の命に背いて土地を献上しなかった味張（アジハリ）が償いとして、春秋に屯田耕作のために農民500人を献上したと記されている。農民500人がそこに住んだことから、五百住（よすみ）の地名になり、「あじやりの社」は「アジハリ」が訛った呼び名といわれている。



②筑紫津神社

「津」は港を表わし、古代、筑紫津は淀川の畔にあって船が着くところだった。九州の筑紫に出兵した、今城塚古墳ゆかりの継体天皇との関係も注文されている。



③津之江公園

女瀬川と芥川の合流点にある自然再生公園「津之江公園」は広大な自然空間が再現され、水生植物や野鳥の楽園として市民に親しまれている。





散策スポット

河港をめぐる散策コース

津之江 三島江



④ 段倉

この地域は淀川と芥川の合流域にあり、水害から米や農具等を守りため、石垣の上に築かれた土蔵は床を段々に高くしています。屋敷内の北西の方位に建てられたので「いぬいの蔵」とも呼ばれている。



⑥ 三島鴨神社

「伊予国風土記」には、百済から来た和多志の大神は「津の国の御島」に鎮座して祀られたとあり、ここから日本三大三島神社の発祥地との説もある。元々は淀川中州にあり、慶長3年(1598)の築堤工事でこの地に移された。



⑤ 玉川の里と卵の花

玉川は16世紀頃までは芥川と合流し、水量の豊かな川として「天下六玉川」の一つに数えられている。毎年5月から6月かけて咲く卵の花は、初夏の風物詩として和歌にも詠まれ、高槻市の花に指定されている。



⑧ 三島江浜

三島江浜は北の唐崎浜と共に大坂と伏見を結ぶ淀川過書船(独占的な営業を許された荷船)が入り出りする河港として栄えた。和歌などにその美しさを詠われ、今も妙見灯籠が往時を忍ばせている。

三島鴨神社の前には田んぼが広がり、4月はレンゲ、10月はコスモスの花畑になります。秋祭の頃はコスモス畑が広がり最盛期を迎える。



⑨ くらわんか舟発祥地記念碑

江戸時代の初め、三十石船に漕ぎより荒い言葉で食べ物を売る茶船があった。一説には、大坂の陣で追いつめられた徳川方に協力したため、その恩賞に武士にも地言葉で商売をしても良いとお墨付きを貰ったといわれている。

⑩ 興楽寺

奈良時代に行基が開いたともいわれ、ご本尊は十一面観世音菩薩。戦国時代に焼かれたとき、猛火の中から白鷺が一羽飛び去って淀川の洲におり、人々が見に行ったところ観世音菩薩だったと言い伝えられている。

《散策モデルコース》

所要時間：三島江浜まで3.5時間、立寄り時間は含みません。(帰路は、三島江バス停から市バスを利用。約35分)

JR高槻駅	徒歩 10分	高槻市役所	徒歩 30分	あじやりの社	徒歩 10分	築紫津神社	徒歩 15分(芥川堤防)	津之江公園	徒歩 40分(芥川堤防)	段倉	徒歩 25分	玉川の里	徒歩 40分	三島鴨神社	徒歩 5分	レンゲ・コスモス畑	徒歩 20分	興楽寺	徒歩 3分(淀川堤防)	くらわんか舟発祥地記念碑	徒歩 10分(淀川堤防)	三島江浜跡	徒歩 10分(淀川堤防)
-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------------	-------	--------------	----	--------	------	--------	-------	-------	-----------	--------	-----	-------------	--------------	--------------	-------	--------------

◆市バス、三島江バス停へ(JR高槻駅行)
※バス時刻(市バス072-677-3513)